

神海丸通信

・浜田出港

1月11日に隠岐水の専攻科は乗船する予定でしたが海上時化のため船が止まり20日に浜田で乗船しました。

15日の14時30分に長浜港を出港し、関門海峡を経て、専攻科20名本科16名 誰も船酔いすることなく漁場へ向かっています。

・漁具作業 & 海洋観測開始

1月16日から海洋観測が始まりました。海洋観測では、「AST D」という機械を水深1050mまで沈め、水温や塩分濃度を調べます。これは1日に計4回行います。専攻科は、船の停止や機械の操作を頑張っています。

午前中は作業なので、マグロ操業に使う漁具の製作も頑張っています。

・速吸瀬戸見学

これから約1ヶ月の操業をこの仲間達で協力して頑張ります。



・生徒密着記事

今回は専攻科(漁業科)・三木鴻平に密着。

Q「船内生活で大切な事ってなんですか？」

三木「時間を見て行動することですかね。時間を守らないと信用を失います。」

Q「時間は大事ですよ。他にはありますか？」

三木「風呂の入り方やルームメイトとの共同生活ですね。風呂で使う水(雑用清水)は船で海水から作っているので節水に心がけ水は大切に使用しないといけません。専攻科生は当直が朝の4時から入る時は3時過ぎには起きないといけないので、部屋がうるさいと寝れません。だからあんまり騒いだりしません。」

Q「1回に造られる水は限られますもんね！朝4時からって朝早いんですね！」

三木「もう慣れました(笑)ワッチ(当直)はとても楽しいです。」

以上 三木鴻平に密着